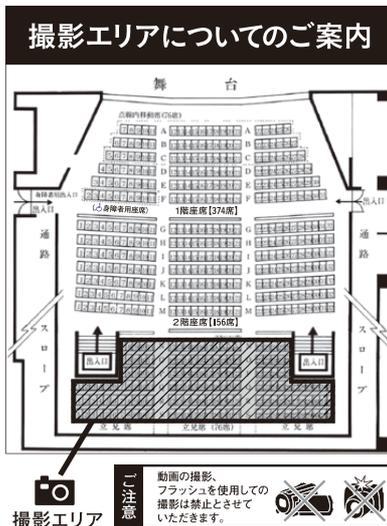


「広島神楽」定期公演へようこそ!

本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラ・携帯電話等での**動画撮影は禁止**します。
(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。



7月15日のタイムスケジュール

出演：阿坂神楽団（北広島町）

19:00～開演

19:05～第一幕『葛城山』

(おおよそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『殺生石』

(おおよそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もしていただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がりください。)
※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

あざかかくらだん

阿坂神楽団プロフィール ～山県郡北広島町～

阿坂神楽団の創立は定かではありませんが、昭和37年に150年記念祭を行った写真が残されており、2012年に創立200年の歴史を誇る神楽団です。

旧舞を主体に伝統を守り続けてきましたが、ここ数年は新舞にも力を入れ、後継者不足に悩みながらも町外からの団員や女性団員の力を得て、奉納を行っています。

これからも、古き善き郷土の伝統芸能を団員一同、守り続けてまいりますので、暖かいご声援をよろしくお願いいたします。

第一幕『葛城山』(かつらぎざん)

大和の国を一望する葛城山に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのらいこう)へ忍び寄ります。

時に頼光は病に伏し、頼光の美しい侍女・胡蝶(こちょう)が典薬(てんやく)の守から薬を持ち帰るところを、土蜘蛛の精魂は襲います。そして、胡蝶になりますと、頼光に毒薬を薬と偽って飲ませます。

しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で一太刀浴びた土蜘蛛の精魂は葛城山へと逃げ帰ります。

頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け土蜘蛛退治を命じます。四天王は、葛城山へ向かい精魂の妖術に立ち向かい、壮絶な戦いの果てに成敗するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 藤田 丈二	源 頼 光 … 小 田 太	胡 蝶 … 佐々木 匡
	小太鼓 … 上野 昭文	碓井貞光 … 小野 遥平	土 蜘蛛 … 益井 保信
	手打鉦 … 佐々木 正之	卜部末武 … 河野 翔紀	
	笛 … 勝 友美		

第二幕『殺生石』(せっしょうせき)

唐(とう=中国)・天竺(てんじく=インド)・日本の三国を飛び渡り、悪事を働いていた金毛九尾の悪狐は那須乃ヶ原で弓の名人・三浦介(みうらのすけ)、上総介(かずさのすけ)に退治されますが、怨霊は消滅せず、遂に殺生石になります。

触れるもの全てを殺すと言われた殺生石は、時折悪狐の姿に戻り、庶民に災いをもたらします。これを見た玄翁(げんのう)和尚は、法華経(ほけきょう)の功德と法の槌をもって殺生石を打ち砕き、悪狐の悪霊を封じるといふ物語です。

【出演】	大太鼓 … 藤田 丈二	玉 藻 前 … 佐々木 匡
	小太鼓 … 上野 昭文	玄翁和尚 … 小野 遥平
	手打鉦 … 佐々木 正之	飛 び 助 … 益井 保信
	笛 … 勝 友美	